

## 講座 11 ひきこもりの心理理解と対応

**講座の内容等：**若者の「ひきこもり」現象が注目されるようになったのはこの20年ほどの間です。初期の頃は、不登校と重なる現象として多くの専門家や支援者たちから、さまざまな意見が聞かれました。精神疾患や障害によりもたらされる withdraw と呼ばれる症状と区別する意味から「社会的ひきこもり」とも呼ばれるようにもなりました。しかし、その実態や背景要因はなかなかはっきりしないまま、対策の中心は、結局のところ地域精神保健の課題として精神医療の周辺機関の手に委ねられてきました。演者はこの5年間に渡り、東京都や内閣府の依頼により「ひきこもり」の実態を調査してきました。その結果、わが国におけるひきこもりの実態とその背景要因をかなり解明することが出来ました。それはこれまで語られてきたこととはかなり異なるものであると言わざるを得ません。その数は、全国に推定70万人存在し、さらにその周辺に150万人におよぶ親和群が存在することが明らかになっています。そして、これまで厚生労働省が示してきた「ひきこもりガイドライン」で述べているのは、「ひきこもり」のほんの一部でしかなく、その観点から「ひきこもり」対策を講じることには問題があるということも示していかなければなりません。この講座では、ひきこもりの実態調査から浮かび上がってきた「ひきこもる若者」の心理を紹介するとともに、「不登校」や「ニート」との異同、社会復帰のための方策、さらにはこれ以上「ひきこもる」若者を増やさないための方策について述べてみたいと思います。

**講師：**高塚 雄介 （ 明星大学大学院 ）

**日時：**平成23年7月24日（日）10：30～16：30

**場所：**文京区本郷2-40-14 山崎ビル601号室

**参加資格：**臨床心理士・関連専門職・大学院生 定員20名

**参加費：**社）日本臨床心理士会会員及び大学院生 6,000円  
その他 7,000円

**ポイント：**2

**申し込み方法：**①および②をお願いします。

①週日10:00～17:00に電話で空席の有無をご確認の上、予約してください。

電話番号：03-3817-6804 事務局

②郵便局の振り込み用紙に、以下の各項目を全て記載して、参加費（会員・大学院生6,000円、その他7,000円を振り込んでください。

（なお、キャンセルはできませんのでご了承ください。）

- 講座番号11 講座名 「ひきこもりの心理理解と対応」
- ご氏名・臨床心理士番号・連絡先電話番号・ご所属
- 口座番号 00110-7-413679
- 口座名義 一般社団法人日本臨床心理士会